



NO	箇所	意見	市の考え方と対応	区分
5	P53	がん検診の精密検査後に、がんと診断された市民に対する不安や悩みの解消など心のケアを実施することも大切と思います。	御意見のとおり、がん患者を支えるための取組は大切と考えており、市では、「がん・なんでも相談窓口」など、がん患者に優しいまちづくりを推進しています。素案に、その取組に関する記載がありませんでしたので、追記します。	ア
6	P53 P75	ナッジについて一般の市民に分かりやすい説明があればよいと思います。「行動経済学上、対象者に選択の余地を残しながらも、より良い方向に誘導する手法。」の説明はよく分かりません。	ナッジの注釈が遠回しで分かりにくかったため、「人々が望ましい選択を自然に取れるよう後押しする手法。受診率の向上対策で例えると、受診の必要性のみを説明するのではなく、人々の行動パターンを分析し、受診に至るきっかけを提供する、より効果的な勧奨方法。」に修正します。	ア
7	P74	フレイル、オーラルフレイルについて、注釈がないので分かりにくい。	ライフステージに応じた市民の取組の表に、フレイル（加齢に伴い心身の活力が低下した状態）、オーラルフレイル（加齢に伴い歯や口の働きが衰えた状態）の注釈を追記します。	ア